



日本プライマリ・ケア連合学会
中部ブロック支部



発行人：佐藤 寿一
事務局 〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65
名古屋大学医学部附属病院総合診療科 内
Tel.052-744-2951 Fax. 052-744-2951
E-mail:juichi@med.nagoya-u.ac.jp

ニュースレター No.41(2023.3) 本号の編集担当者 吉岡哲也

【支部情報】

予定

1) 『総合診療専攻医オリエンテーション』

2023年5月27日(土)14:00~17:30(オンライン開催)

2) 『第12回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック支部学術集会』

2023年11月26日(日) 名古屋大学医学部鶴友会館

3) 『中部ブロックポートフォリオ発表会 * 2024』

2024年3月2日(土)

●静岡県支部

報告

1) 『看護学部授業について』

2023年2月2日(木) SFM 指導医の綱分信二と松田真和が、浜松医科大学医学部看護学科/地域看護学講座で《在宅看護方法論：プライマリ・ケアと在宅医療》という授業を担当させていただきました。授業の担当は6年連続ですが、講義室での対面授業は3年ぶりでした。講義・映像資料・グループワーク・ロールプレイを通じて、プライマリ・ケアや在宅医療について興味を持っていただくことができました。

プライマリ・ケア看護師というキャリアも後押しできるように、これからも看護学生の教育にも尽力してまいります。

(文章 菊川市家庭医療センター 松田 真和)

2) 『令和4年度きくがわ医療・介護連携多職種研修会』

菊川市では、例年 きくがわ医療・介護連携多職種研修会を開催しており、当院 医師等も参加しております。地域包括ケアシステムの深化・推進を目指し、医療機関、介護事業所などの専門職の方を対象とした「多職種研修会」を重ね、専門職同士の顔の見える関係・ネットワークの構築をより深めております。2月24日には「いつでもうまいごはんが食べられるといね ~うまいを叶える うまい多職種連携~」と題し、介護食・嚥下食の試食を通じて高齢者の「うまい」を助ける食事の知識も深めてまいります。

3) 公立森町病院友の会とコラボ企画「家庭医をめざす若手医師と語る会」開催(森町家庭医療クリニック)

2023年1月29日に森町病院友の会地域懇談会として「家庭医をめざす若手医師と語る会」を開催しました。家庭医療クリニックの棚橋信子医師(静岡家庭医養成プログラム森町サイト指導医)による講演の後、「森町のことを一緒に話そう」と題し、森町の良いところ、困りごと、あったらいいと思うこと、自分でもできそうなことを、専攻医が加わった7つのグループに分かれてディスカッションを行いました。自分たちの周りのことから町全体に関わることまで意見を出し合い、発表を通して他のグループで出た意見を共有しました。たくさんの意見が出て、たいへん活発なグループワークの時間となりました。

終了後のアンケートでは出席者からの感想は大変好評で、若手医師といろいろなことを話し合えてよかったという意見とともに、医師と地域との関わりや住民とのつながりを期待する声が聞かれました。今後定期的な事業として開催していきたいと思っています。

森町家庭医療クリニックでは、年齢や性別、診療科にとらわれない総合的な診療を行っており、そのような医療を提供する上で家庭環境や地域のことを知ることは重要な要素の1つとなっています。

今回の懇談会は、参加された方々に森町で働く医師を知っていただくとともに、医師たちが森町のことや地域の皆様の思いを知り、今後の診療に生かすための情報を得る良い機会となりました。



4) ミシガン大学医学部留学生の受け入れ

静岡家庭医養成プログラムではミシガン大学家庭医療学科と提携しており、当プログラムの専攻医は研修期間中に2週間ミシガン大学へ研修に行くことができます。また、希望があればミシガン大学医学生の日本での研修を受け入れています。今回も2023年1月にミシガン大学医学部4年生のDanielleさんとJeffreyさんが静岡での臨床実習を希望され来日しました。お二人は森町家庭医療クリニックで外来、訪問診療研修、菊川市立総合病院で産婦人科研修(産婦人科家庭医療学講座)、公立森町病院で皮膚科を実習されました。休日には日本の観光に行かれたり、公立森町病院院長の古民家にある手作りのピザ窯でピザを焼くピザパーティーを行ったり、全サイト専攻医が集まるGR(Grand Round)中にお誕生日を迎え、サプライズでケーキが出てきたりと、充実した時間を過ごしました。

来年度から始まるお二人の今後の医師人生に、少しでもここで学んでいただいた何かが残ってくれたら嬉しく思います。私たちも英語を勉強するいい機会になりました。



5) 2023年2月16日(木)14:00～15:00「第18回しろわかフェ」(御前崎市家庭医療センターしろわクリニック)

御前崎市家庭医療センターしろわクリニックでは、1年に数回、「しろわかフェ」という市民を対象にした公開講座を行っています。

今回のテーマは、医師による「带状疱疹について」と、栄養士による「腸の健康について」をお話しました。御前崎市家庭医療センターしろわクリニックが開業して5年余りの間には、コロナ禍で「しろわかフェ」の開催が出来ない時期もありましたが、今年度は感染対策を行い開催を再開する事が出来ました。「しろわかフェ」という名の通り、コロナが流行する前は、市民にコーヒーやお茶を飲みながらお話を聞いてもらっていましたが、今年度からは、帰りにお茶とお菓子を持って帰っていただく様に変更をしました。「しろわかフェ」開催当初は、来ていただいた市民の方が2名だった時もありましたが、今回は大変ありがたい事に32名もの市民の方々にお越しいただきました。

今後も市民の皆様のニーズに合った「しろわかフェ」を続けていく予定です。

(文責:御前崎市家庭医療センターしろわクリニック 太田祐里)



6) 第3回しずセミ！～静岡の家庭医と学ぶ、プライマリ・ケア入門セミナー～

2023年2月23日(木・祝)に開催された、第3回しずセミ！のテーマは『救急外来で遭遇！！これはもしかして！！バッドニュースの伝え方』です。家庭医専攻医1年目の医師が経験した症例を元に、SPIKESモデルを使った説明の仕方をレクチャー、小グループでのロールプレイ形式で学びました。

今回は医学生の参加が多かったですが、ロールプレイを経て“SPIKESモデル意識して説明すること”を経験していただき、「技術的な面はもちろんだが、同じくらい患者さんへのコミュニケーションが大切だと実感した」、「実践してみると難しいと感じました」などの感想をいただきました。

今後も医学生や初期研修医を対象としたテーマでプライマリ・ケア勉強会を続けていきたいと思えます。



『救急外来で遭遇！！
これはもしかして！！
バッドニュースの伝え方』



●三重県支部

【活動報告】

1)特別講演 開催

日時:2022年12月9日(金)17:30-18:30

会場:三重大学医学部臨床第一講義室/Zoomとハイブリッド

講師:和足孝之先生(島根大学総合診療センター)「将来の進路とボク/ワタシの傾向性」

2)総合診療 虎の穴 巻之十七 開催

専門性の狭間を覗いてみよう

日時:2022年12月15日(木)20:00-21:30

会場:Zoomによるオンラインセミナー

演者:谷崎隆太郎先生(市立伊勢総合病院)「病院で総合診療科外来を開設するとうなる」

3)メンタルヘルスケアセミナー 開催

日時:2023年1月27日(金)18:00-19:30

会場:三重大学総合診療部医局/Zoomとハイブリッド

演者:新野青那先生(福井大学 公認心理師)「プライマリ・ケアにおけるメンタルヘルスケア」

プライマリ・ケアでは86%の患者が年に1回はメンタルヘルスの問題を相談し、23%が何らかの精神疾患を持っていたとの研究結果があるとのこと。メンタルヘルスの問題を評価する技術、マネジメントの最適化等についてお話いただきました。心理職の役割、そしてどのように協働するかについて議論が盛り上がりました。



4)ポートフォリオ発表会 開催

日時:2023年2月26日(日)9:00-11:00

会場:Zoomのブレイクアウトルームを用いてオンラインでの開催

【今後の予定】

1)総合診療 虎の穴 巻之十八 開催予定

Medically Unexplained Symptoms

日時:2023年3月4日(土)16:15-18:25 会場:三重大学医学部多目的講義室/Zoomとハイブリッド

演者:二宮隆仁(市立伊勢総合病院)

「症例呈示」

西山順滋先生(関西医科大学心療内科学、関西医科大学附属病院 総合診療科)

「それ、本当にMUDですか?~正しいMUS診療を一緒に考えよう!~」

●富山県支部

<PFブーツキャンプ>

【PFブーツキャンプ】

私たちのプログラムでは毎月PF形式で勉強会を行っています。今回、提出を控えた最終学年の専攻医を対象に今まで作ってきたPFを網羅的にチェックする「PFブーツキャンプ」を行いました。提出前だからこそ細かい修正や、口頭試問のポイントなどを確認することができたと思います。PFチェック、CSA模擬試験など、当プログラムには専門医試験対策を万全に行う体制があります。作ってきてくれた専攻医もちろん大変だったとは思いますが、こういった会があったからこそ、彼らのPF作成が加速したと感じています。

<医学生向けウインターセミナー>

【とやま総合診療ウインターセミナー】

富山大学附属病院で医学生向けの勉強会が開催されました。学校では教えてくれないかも知れない総合診療医の働き方、考え方などについて、富山県の総合診療医が総力を挙げてレクチャーしました。診断に至までのプロセスや、解釈モデル、フォーマル/インフォーマルサポートなどについて事例を元にみんなで学びました。座談会では後輩達が私たちに積極的に質問してくれました。自身の将来像を考える一助になったのではないかと思います。私たちも楽しかったです。

今回の勉強会をきっかけに定期的に勉強会を行うことができると良いなと思います。

<とやまいびー>

【とやま多職種連携教育プロジェクト「とやまいびー」開催】

2022年12月10日に、多職種連携教育イベントである「とやまいびー」を開催しました。富山県薬剤師会とのコラボ企画として「薬剤師の仕事を知る」をテーマに設定しました。多職種連携コンピテンシーの1つに「自・他職種を知る」というものがありますが、特に在宅における薬剤師の役割を、薬剤師自身も知ることができ、薬剤師以外の職種にとっても、知っているようで知らない薬剤師の仕事を知るきっかけになりました。コロナ禍で2020年2月以来、2年半ぶりの対面開催でしたが、対面ならではのコミュニケーションのとりやすさから、参加者の「気付き」はオンライン開催に比べても多かった様に思います。多職種連携は、高齢化社会や医療の細分化に加え、コミュニケーションがとりにくいコロナ禍においてより重要性が増しており、その教育の必要性は認識されながらも、各施設での教育が継続できていないケースも多くみられます。とやまいびーでは、2014年以来、各医療機関、各学校で活動を続けていますが、今後も出張型イベントとしての開催に加えて、年間を通したシリーズ型の教育も検討しています。

<PF 勉強会>

【1月 PF 勉強会】

今年第1回のPF勉強会が開催されました。PFレクチャーテーマは「マルチモビディティ」でした。マルモと言えはいまや有名人の南砺市民病院大浦先生ですが、今回は同病院の専攻医の先生が概要を説明してくれました。バランスを重視した治療を考えるスキルが総合診療医には求められます。

【2月 PF 勉強会】

今回のレクチャーテーマは「長期的な全人的関係に基づくケア」で、専攻医の先生がお話ししてくれました。核となる、Longitudinalityとはなにかについて端的にまとめてくれて良かったです。PF発表会では多疾患併存をテーマにした発表を聞くことが出来ました。マルチモビディティに対して、患者の希望も聞きながら他施設も巻き込んだ統合されたケアを展開できたところが大変良かったと思います。短期間で客観的なアウトカムを出すことは難しいのですが、その中でも患者満足度を上げて、通院して貰えるような負担感に調整できたことは流石だなと感じました。

<臨床研究勉強会>

【第4回臨床研究勉強会】

今年度第4回目となる、とむじえり専攻医/指導医対象のオンライン臨床研究勉強会を11月22日に行いました。

今回は、横浜市立大学 医学群データサイエンス研究科の金子惇先生を講師にお迎えし、先生がご発表された「プライマリ・ケアの質が高齢者のインフルエンザ・肺炎球菌ワクチン接種と関連があるか」という論文をもとに、ワークショップと、ご講義を行っていただきました。ワークショップでは、リサーチクエスチョンをPECOの形に落とし込むこと、また、交絡因子を挙げながらDAGを描く実践練習を行いました。その後、プライマリ・ケアの質や、研究とTheoryの重要性についても歴史的な背景を踏まえてお話いただきました。金子惇先生には昨年度より何度もご講義を行っていただいておりますが、本日は昨年度の内容も踏まえつつ、さらに濃密な内容をお話いただき、研究初学者の方から上級者の方まで、非常に学びの深まる時間となりました。金子先生、お忙しいところ長時間のご講義ありがとうございました！

とやま総合診療プログラムでは、今後も、プログラム内外の先生、また、大学のリサーチ・ミーティングや各サイトと連携しながら、臨床研究について学べる場を提供していきたいと思っております。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

【第5回臨床研究勉強会】

今年度第5回目となる、とむじえり専攻医/指導医対象のオンライン臨床研究勉強会を12月22日に行いました。10月に行われた第3回目の続編として、指導医の河合皓太先生、専攻医の並河大器先生より、研究計画書をご発表いただきました。前回アイデア段階だったリサーチクエスチョンを膨らませ、本日までにリサーチクエスチョン、そして手法をブラッシュアップいただきました。河合先生、並河先生ともにアンケート調査を予定しておられるので、その手法やサンプリングについても統計家の黒岩祥太先生からアドバイスをいただきとても勉強になりました！終末期、せん妄などとても身近なトピックで、参加者の先生方それぞれのご経験やご意見をチャットも交えながら活発に意見交換し、とても盛り上がりました。

次回は今年度の研究勉強会の締めとして、さらに内容を発展いただき、またパイロットスタディの途中経過などについてもご報告いただく予定です！

とやま総合診療プログラムでは、今後も、プログラム内外の先生、また、大学のリサーチ・ミーティングや各サイトと連携しながら、臨床研究について学べる場を提供していきたいと思っております。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

●福井県支部

【報告】

 総合診療・総合内科センター **General 道場「ど~しよう会」**を開催しました

Global General Good Doctor!! 我々が**トリプルジーセンター**から世界に向けてのプロジェクト。総合診療医育成所の症例(人生)相談会。実は指導医も悩んでいる! ?ってそりゃそうか。人間だもの(笑)(笑)(笑)

第16回 ど~しよう会



 総合診療・総合内科センター **GGG Web seminar**を開催しました

2022 年度ラストを飾るのは、家庭医の本場カナダはバンクーバーとの**合同セッション!!** **当センター史上初**の試みでしたが、参加者多数の☆大・盛・況☆ 次年度は新たな野望を画策中(え~そんなことまで! ?→フッフッフ) 乞うご期待♡



センター**ホームページ**と **twitter** フォローもよろしく 

<支部運営についての情報>

- 各県の代表窓口は下記の方々です

三重県; 若林英樹、富山県; 三浦太郎、石川県; 吉岡哲也、岐阜県; 森田浩之、愛知県; 佐藤寿一、福井県; 林寛之、静岡県; 井上真智子

- プログラム責任者の会中部ブロック代表; 大浦誠 (南砺市民病院)

- 中部ブロックの活動に関するご意見等ありましたら下記までご連絡ください。
木村 悦子 (中部ブロック支部事務局) e-kimura@med.nagoya-u.ac.jp